

景 観 計 画 書  
(神田川景観基本軸における工作物の建設等)

当該行為における景観形成に関する考え方	
記載欄	
(1) 規模・高さ	
<input type="checkbox"/>	神田川の水上や対岸から見たときに、圧迫感を感じさせないよう長大な壁面の工作物は避ける。 記載欄
(2) 色彩	
<input type="checkbox"/>	色彩や素材は、次の事項に適合するとともに、水辺の自然環境や周辺との調和を図る。 <ul style="list-style-type: none"><li>・素材は、耐久性があるものを積極的に使用し、光沢があるものは控える。</li><li>・地域で親しまれている色彩（別表参照）の活用に努める。</li><li>・外観の色彩は、別表に定める基準に適合するものとする。</li></ul> 記載欄

上記以外で特に景観に配慮した事項

--